



土大根有機の売が萎びたる
○虎落笛前途多難も知れたもの
カレンダー傾きかげん十二月

えり

【今回の兼題】
①虎落笛 ②人参 あるいは大根

恵子

初雪や奈良より酒の届けけり
○「最高にグー」らし我の大根煮
生れし子に付くもの付きて身酒かな

富子

風邪引きの寝床に聞こゆ虎落笛
大根人参姑の得意なおなま酢や
○星七つ見上ぐ吾にも光あり

文子

虎落笛恐ろしい夢で飛び起きる
高木に葉付大根干されおり
落葉掃き済ませ今夜は柚湯かな

千代

○父と子は別々の檻虎落笛
大根買ひ天氣の話値の話
○人参の星やハートや弁当箱

農子



虎落笛子猫の襖破りかな
煮大根今は好物となりけり
ピーラーの人参鍋を引き立てる

郁子(岡)

銀杏散る金の世界へまつしぐら
○餅つきや姉さん被りの妣をふと
彩りに添える人参すぐれもの

初江

大根を水路に洗う水の町
虎落笛眠剤飲もうか止めようか
お通しの人参スティック鮮やかに

紀美

○虎落笛消したい過去の二つ三つ
たくあんを漬けし母の魔法の手
○帰省子も走る師走や母置いて

丞子

もがり笛クッキー焼けた電子音
段畑の葉付き大根東京へ
○冬銀河山家の闇の静もりぬ

迪子

○張った意地解けずにさまよう虎落笛
○もらい乳して孫を育てし祖母の冬
大根は力競うか狭い土地

郁子(土)



一年の歴史刻みて日記果つ
○ピアノ弾く窓にかすかな虎落笛
大根煮る鍋ことごとく虎落笛

綾子

亡き人の記憶となりて冬銀河
暁星や調教の馬息白し
○寒風に柄の折れ曲がる七つ星

紅白なます



小鍋には黒き徳利虎落笛
大根を食めばいりこの香りあり
香水に直七の香の師走かな

哲也

山下 正雄 作品

虎落笛へんろの過去は問わぬもの
ニンジンと呼ばれし少年冬の虹
戦場の首うちな一の島大根

★次回市民句会

【開催日時】

令和八年一月二十八日(水)

午後一時十五分～午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 研修室

【兼題】

①馬

②氷柱 あるいは雪

(他の題材でも構いません)

【初めての方へ】

市民句会は、俳句愛好者の集いです。
どなたでも自由にご参加いただけます。
事前申込や参加費は不要です。

